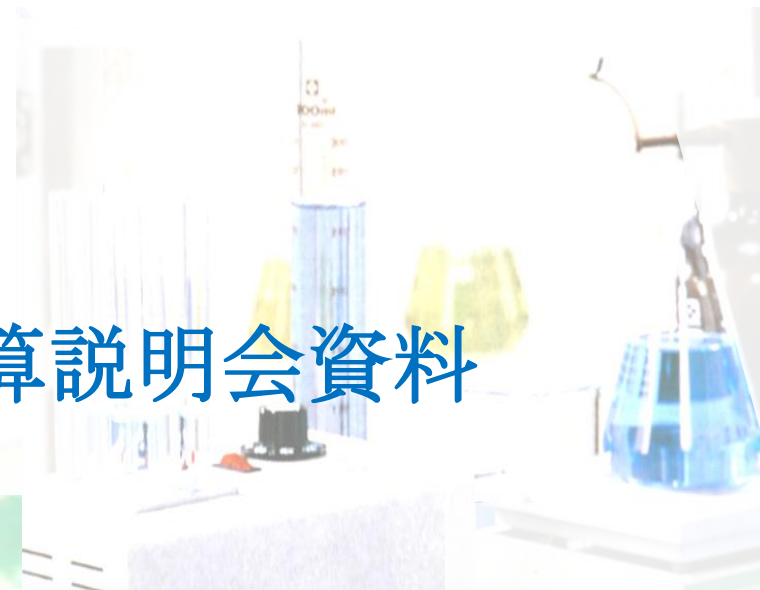




2018年3月期 第2四半期決算説明会資料



2017年10月31日（大阪）

2017年11月 1日（東京）

石原ケミカル株式会社

Ishihara Chemical Co., Ltd.

（東証二部 4462）

本日の内容

Chapter I

1. 2018年3月期 第2四半期決算の概要
2. 2018年3月期 通期業績予想
3. 設備投資・株主還元・内部留保の考え方

Chapter II

- 1.セグメント別の営業の状況・見込み
- 2.地域別販売の状況

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想値と大きく異なる可能性があります。

Chapter I

1. 2018年3月期 第2四半期決算の概要
2. 2018年3月期 通期業績予想
3. 設備投資・株主還元・内部留保の考え方

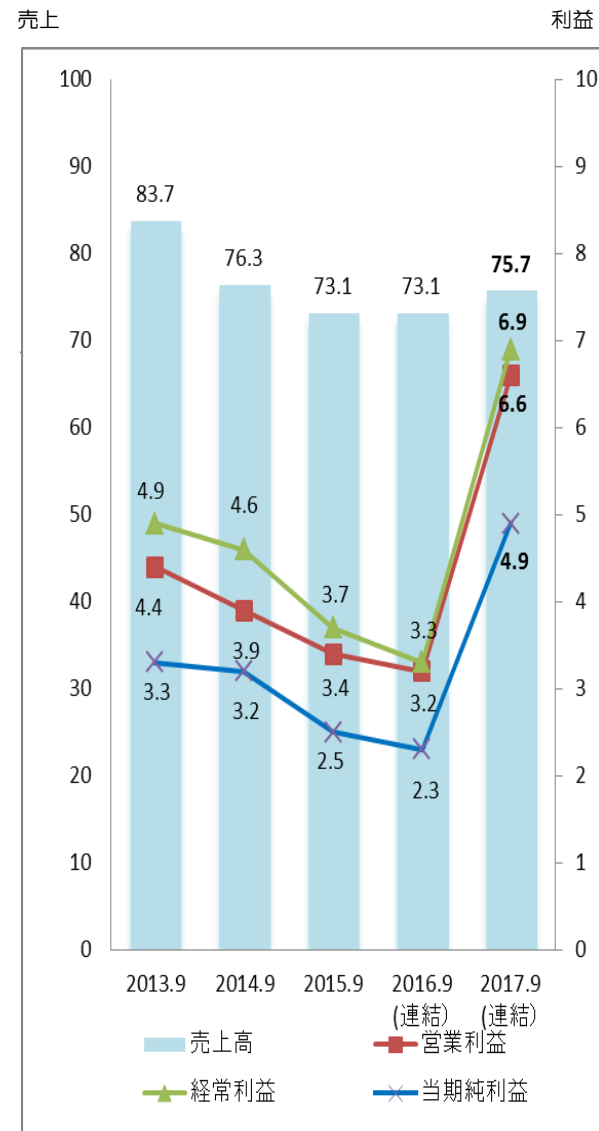
代表取締役社長 時澤 元一

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想値と大きく異なる可能性があります。

1. 2018年3月期 第2四半期(2Q)決算(連結)の概要

	2018年3月期 2Q		前年同期		対前年		2018年3月期 2Q		対公表値
	実績	構成比	実績	構成比	増減率	増減額	公表値*	構成比	増減率
売上高	75.7	100.0%	73.1	100.0%	3.6%	2.6	73.1	100.0%	3.6%
売上原価	51.7	68.3%	52.8	72.2%	△ 2.1%	△ 1.1			
販管費	17.3	22.9%	16.9	23.1%	2.4%	0.4			
営業利益	6.6	8.8%	3.2	4.7%	106.3%	3.4	4.6	6.3%	43.5%
経常利益	6.9	9.1%	3.3	4.5%	109.1%	3.6	5.0	6.8%	38.0%
当期純利益	4.9	6.5%	2.3	3.1%	113.0%	2.6	3.6	4.9%	36.1%
							*2017年5月公表		

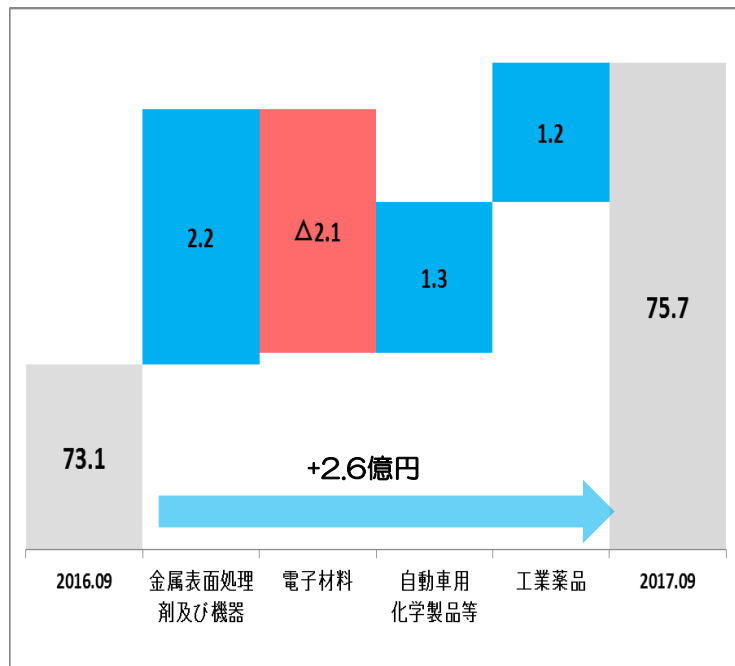
- **売上高** : 金属表面処理剤及び機器等、自動車用化学製品等、工業薬品セグメントは、好調に推移し増収
- **営業利益** : 高付加価値製品の伸びにより粗利率が向上し、大幅な増益
- **設備投資** : 183百万円 (前年同期 96百万円)
- **減価償却費** : 177百万円 (前年同期 198百万円)



売上高・営業利益の増減要因

売上高

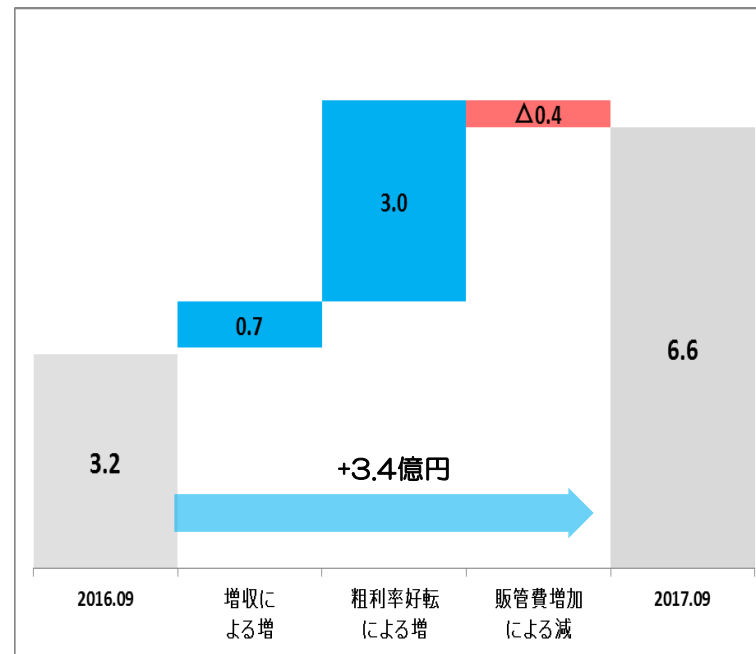
(億円)



- **金属表面処理剤**：一般電子部品用めっき液の需要堅調、加えて、ウエハー用銅めっき液の採用あり
- **電子材料**：機能材料加工品は堅調、但し、Ni粉の販売が終了
- **自動車用化学製品等**：引き続きエアコン洗浄剤の販売が好調
- **工業薬品**：鉄鋼向け基礎薬剤が堅調

営業利益

(億円)

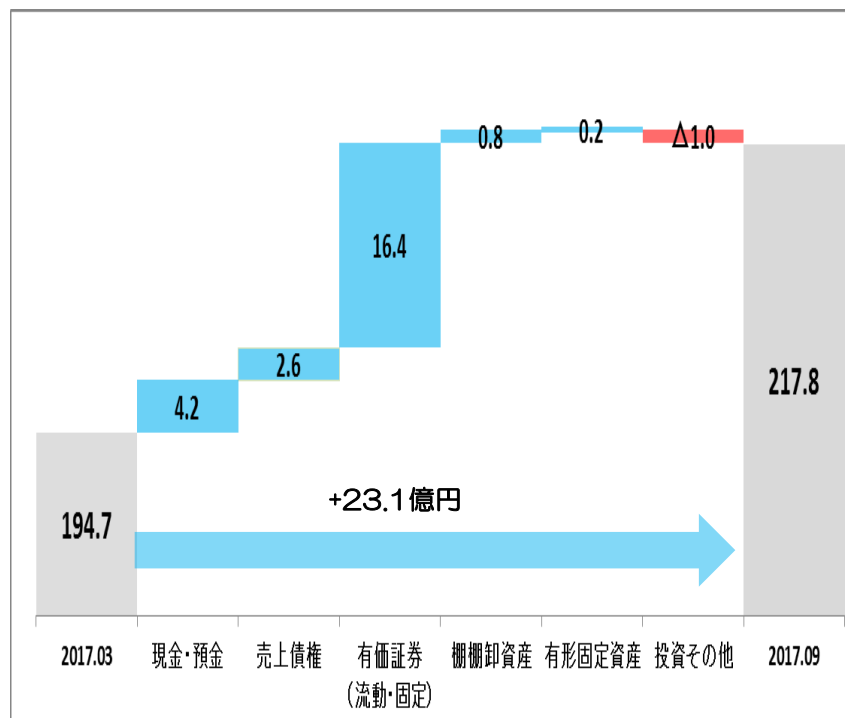


- **売上総利益**：高付加価値製品の伸びにより、粗利率4.0%好転
- **販売管理費**：人件費918百万円（前年同期比0.7百万円増）、経費817百万円（前年同期比37百万円増）

貸借対照表の増減要因

資産の部

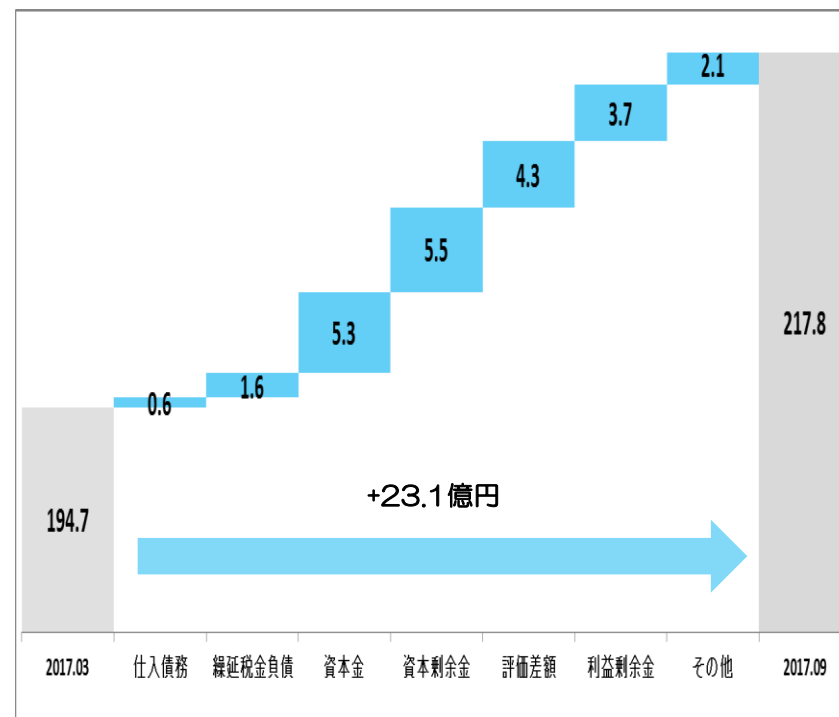
(億円)



• **有価証券**：余資運用目的の債券購入12.0億円、有価証券評価益5.9億円増

負債・純資産の部

(億円)



- **資本金**：公募・第三者割当新株発行693,700株 10.67億円 資本金組入50% 5.3億円
- **資本剰余金**：新株発行50% 5.3億円及び自己株式譲渡益0.2億円
- **評価差額金**：有価証券評価益の増加額の約70%
- **利益剰余金**：当期純利益4.9—期末配当1.2億円

経営指標の推移

1. 主要経営指標推移

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (連結)	2017/9 (連結)
総資産 (百万円)	18,292	19,222	18,849	19,479	21,789
純資産 (百万円)	14,621	15,395	15,486	15,893	17,928
1株当たり純資産 (円)	1,959.99	2,063.68	2,075.97	2,161.25	2,198.66
自己資本比率 (%)	79.9%	80.1%	82.2%	81.6%	82.3%
自己資本利益率 (%)	4.7%	4.6%	3.5%	3.6%	5.8%
当期純利益 (百万円)	688	685	542	570	494
発行済株株式数 (株)	7,460,440	7,460,440	7,460,440	7,460,440	8,154,140

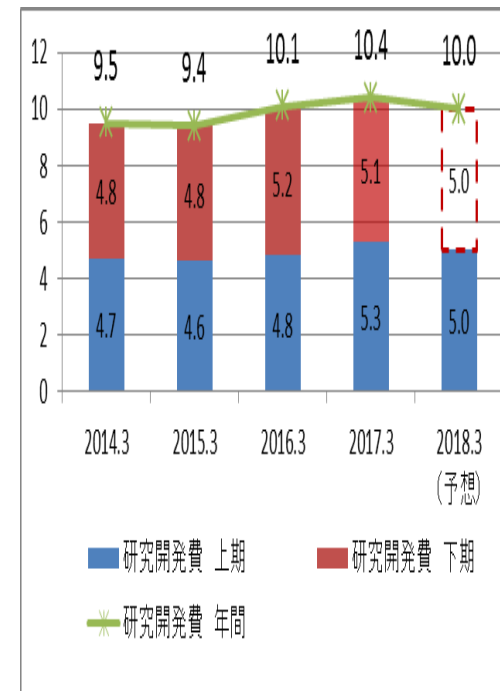
配当額の推移

2. 配当額の推移

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (連結)	2017/9 (連結)
一株当たり配当額 (円)	30.00	30.00	32.00	32.00	(32.00)
内中間配当 (円)	15.00	15.00	16.00	16.00	16.00
配当性向 (%)	33.5%	32.7%	44.0%	41.6%	(30.9%)

研究開発費

(億円)



2. 2018年3月期 通期連結業績予想

(2017年4月1日～2018年3月31日)

								(単位:億円)	
	計画(2018年3月期)		見込値(2018年3月期)		前年実績		対前年 増減率	対前年 増減額	
	上期	年間	上期実績	年間	上期	年間			
売上高	73.1	148.8	75.7	148.8	73.1	145.7	2.1%	3.1	
営業利益	4.6	10.5	6.5	10.5	3.2	7.4	41.9%	3.1	
経常利益	5.0	11.1	6.9	11.1	3.3	8.2	35.4%	2.9	
当期純利益	3.6	8.1	4.9	8.1	2.3	5.7	42.1%	2.4	
1株当たり当期純利益	48.95円	103.57円	65.99円	103.57円	32.13円	76.97円			
1株当たり配当額	16.00円	32.00円	16.00円	32.00円	16.00円	32.00円			
			*2017年5月公表						

3. 設備投資・株主還元・内部留保の考え方

設備投資計画

事業所名 (所在地)	セグメントの名称	設備の内容	投資予定額 (千円)	資金調達方法	着手年月	完了予定 年月	完成後の 増加能力
本社 (神戸市兵庫区)	金属表面処理剤及び機器 等、自動車用化学製品等	研究開発機器等	126,000	自己資金	平成29年 4月	平成30年 3月	—
滋賀工場 (滋賀県高島市今津 町)	金属表面処理剤及び機器 等、自動車用化学製品等	機械装置等	271,000	自己資金	平成29年 4月	平成30年 3月	—
神戸工場 (神戸市西区)	電子材料	機械装置、研究開 発機器等	156,000	自己資金	平成29年 4月	平成30年 3月	—
滋賀工場 (滋賀県高島市今津 町)	金属表面処理剤及び機器 等、電子材料、自動車用 化学製品等	第一製造所 建屋等	1,218,000	自己資金、 増資資金 及び 自己株式 処分資金	平成30年 4月	平成30年 12月	—
滋賀工場 (滋賀県高島市今津 町)	金属表面処理剤	生産設備	400,000	自己資金、 増資資金 及び 自己株式 処分資金	平成30年 11月	平成31年 5月	—
計			2,171,000				

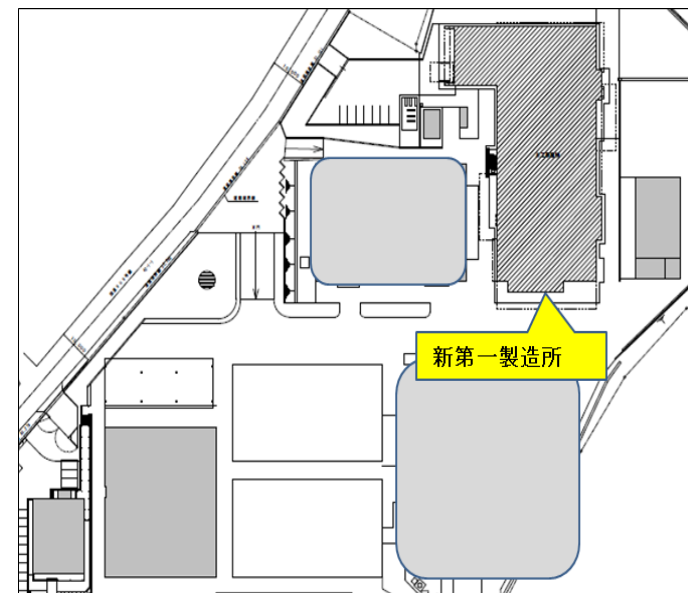
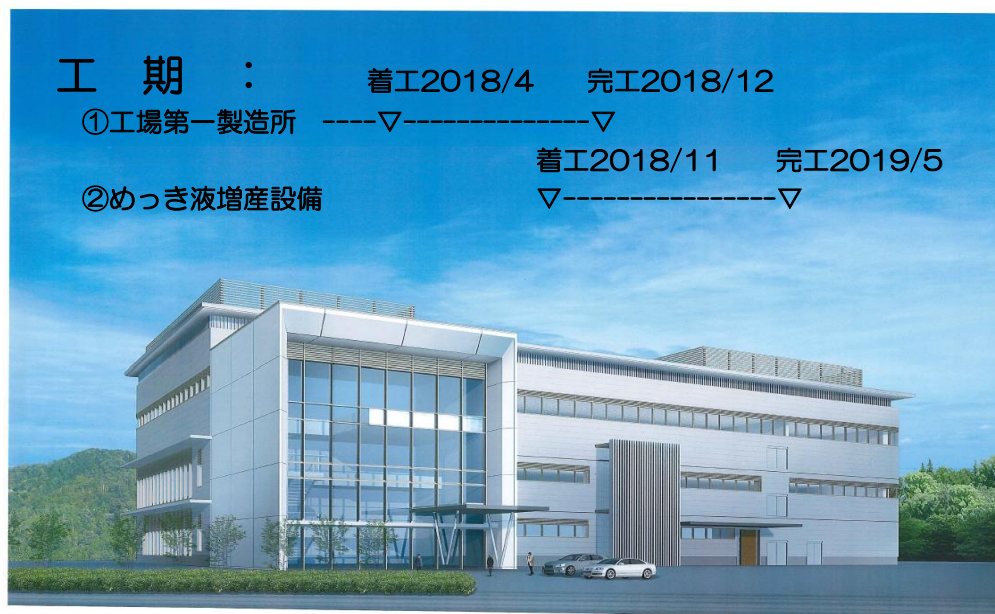
今後の成長を見据えた設備投資

半導体等の電子部品関連市場に対応したよりクリーンな生産環境を実現すること及び当社の自動車用化学製品等の安定供給体制を維持することを目的とした当社滋賀工場第一製造所の建替並びに拡大が見込まれる銅ピラー技術やファンアウト技術に対応しためっき液の増産設備であります。

滋賀工場第一製造所・
めっき液増産設備
総投資額 16億2千万円



公募増資・自己株売出による
12億3千万円を充当



2018年3月期の配当予定

安定配当を基本としつつも、業績、経営環境、財務状況を勘案し、中間配当16円、期末配当16円の年間配当金32円を予定

株主還元の基本方針

業績に裏付けられた安定的で継続的な配当を行うことを基本としつつ、業績に応じた増配を検討するなど弾力的な還元策をはかっていく方針であります。配当に加えて自己株式取得も機動的に組み合わせて行うことにより、実質的な株主還元の一層の強化をはかります。

内 部 留 保

健全な経営基盤を維持するため内部留保の充実をはかるとともに、内部留保資金の活用については、研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当してまいります。

Chapter II

1.セグメント別の営業の状況・見込み

2.地域別販売の状況

専務取締役 酒井 保幸

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想値と大きく異なる可能性があります。

1. セグメント別の営業の状況・通期の見通し

金属表面処理剤及び機器等				(単位:億円)			
	2018年3月期 2Q実績	前年 2Q実績	前年比	2018年3月期 年間見込み	前年 年間実績	前年比	前年増減
売上高	36.9	34.7	106.3%	73.6	70.4	104.5%	3.2
営業利益	5.1	2.9	175.9%	9.7	7.7	126.0%	2.0

・対応市場環境:

国内の電子部品業界の生産動向は昨年末より底打ち感が認められ、車載関連の電子部品などが好調に推移しました。

海外市場においては、スマートフォン、タブレット向け需要が、ハイエンド品向けを中心に昨年末以降、在庫調整および減産が

認められる一方で、新興国向けのローエンドからミドルエンド品向けにおいては、底堅く堅調を維持しています。

電子材料							
(単位: 億円)							
	2018年3月期 2Q実績	前年 2Q実績	前年比	2018年3月期 前年	前年 年間実績	前年比	前年増減
売上高	2.9	5.0	58.0%	6.2	10.7	57.9%	-4.5
営業利益	△ 1.5	△ 1.6	-	△ 2.7	△ 3.1	-	0.4

・対応市場環境: 国内の半導体製造装置の販売高は、前期比140%好調に推移し、有機EL関連の設備投資も好調を維持。

・セグメント利益: 神戸工場の量産体制整備費用及び新規電子材料の開発費を先行して負担しているため、営業赤字。

自動車用化学製品							
(単位: 億円)							
	2018年3月期 2Q実績	前年 2Q実績	前年比	2018年3月期 年間見込み	前年 年間実績	前年比	前年増減
売上高	13.6	12.3	110.6%	24.6	23.0	107.0%	1.6
営業利益	3.7	3.0	123.3%	5.8	4.9	118.4%	0.9

・対応市場環境:

上期新車販売台数は前期比7.7%増となり、車検在庫数も増加し市場は活況を呈しました。自動車用ケミカルのうち付加価値

系ケミカルの市場は、カーディーラーが新車販売以外の収益源としてサービス売上に力を入れており成長が続いています。

工業薬品							(単位: 億円)
	2018年3月期 2Q実績	前年 2Q実績	前年比	2018年3月期 年間見込み	前年 年間実績	前年比	前年増減
売上高	22.1	20.9	105.7%	44.3	41.4	107.0%	2.9
営業利益	0.9	0.6	150.0%	1.2	1.3	92.3%	-0.1

- ・対応市場環境: 国内の鉄鋼需要は回復に向かいつつあるものの、中国の過剰生産により市況悪化は底を打ちましたが、
いまだアジア市場の需給緩和が続いています。

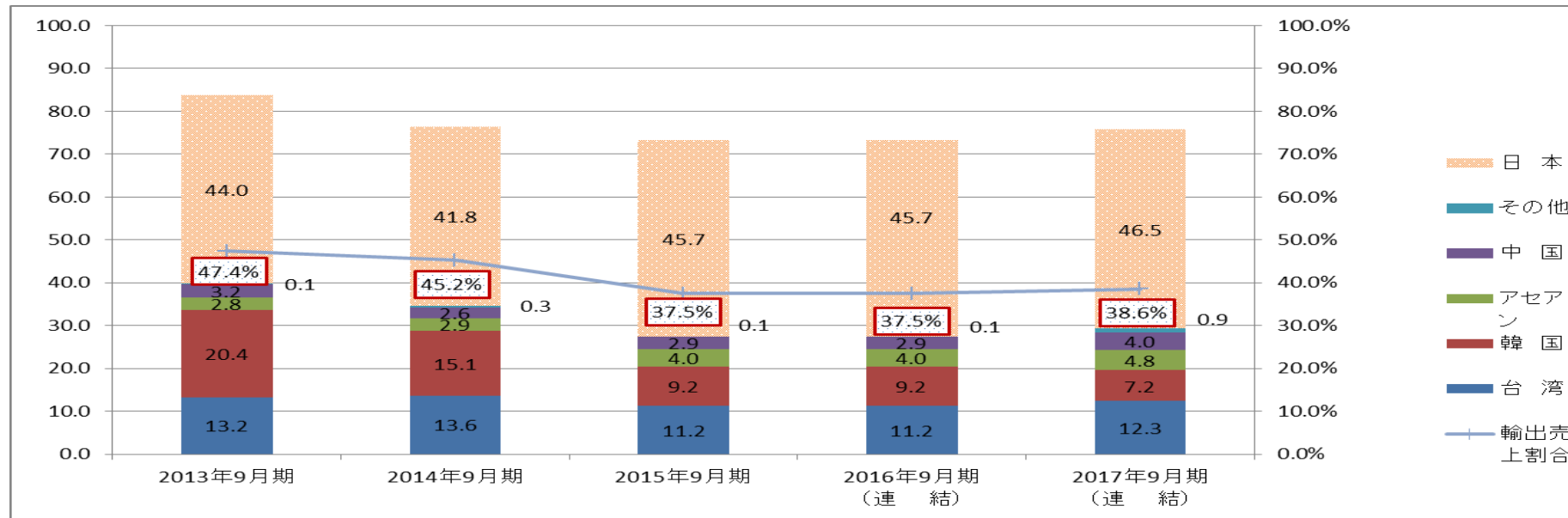
子会社							(単位: 億円)
石原化美(上海)商貿有限公司							
	2017年12月期 2Q実績	前年 2Q実績	前年比	2017年12月期 年間見込み	前年 年間実績	前年比	前年増減
売上高	0.9	0.1	900.0%	2.7	1.3	207.7%	1.4
営業利益	△ 0.3	△ 0.4	-	△ 0.3	△ 0.7	-	0.4

- ・中国ユーザの獲得が、計画より遅れている。
- ・2016年5月より本格的営業を開始、当初3ヶ年赤字の計画、2019年度より単年度黒字を見込む。

2. 地域別販売の状況

海外売上高推移

(単位:億円)



* アセアン…シンガポール
タイ フィリピン 他

地域別売上高	2013年9月期	2014年9月期	2015年9月期	2016年9月期 (連結)	2017年9月期 (連結)
台湾	13.2	13.6	11.2	11.2	12.3
韓国	20.4	15.1	9.2	9.2	7.2
アセアン	2.8	2.9	4.0	4.0	4.8
中国	3.2	2.6	2.9	2.9	4.0
その他	0.1	0.3	0.1	0.1	0.9
輸出売上計	39.7	34.5	27.4	27.4	29.2
日本	44.0	41.8	45.7	45.7	46.5
売上総計	83.7	76.3	73.1	73.1	75.7

	2016年9月	2017年9月
1USD(計画)	120.00	105.00
1USD(実績)	121.79	111.11

- ▶ この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
- ▶ 当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。
- ▶ なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願い致します。

ありがとうございました

2017年11月

石原ケミカル株式会社

(東証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>